

議論の流れから
ヒントが見える

見せます!

倫理 カンファレンス

患者背景や治療の是非など、複雑化する今日の医療現場。そのなかで活動する医療従事者がジレンマを抱えることも少なくありません。こうした問題が生じた際に支援する「倫理チーム」を立ち上げ、対応について話し合う「倫理カンファレンス」を開催する病院が増えています。実際のチームによる“誌上カンファレンス”を通じて、解決に近づけるための考え方を示します。



〔編集・執筆〕工藤祥太 くどう・しょうた

総合病院釧路赤十字病院 看護部 看護係長、
精神看護専門看護師

精神看護の魅力を広めるため、2014年日本赤十字北海道看護大学大学院専門看護師教育課程に進学し、2017年精神看護専門看護師認定。精神科リエゾン看護等、院内外で実践・教育を行っている。2022年より現職。

CONTENTS

- 17 **総論** 倫理カンファレンスって、何を話し合う場？
- 25 **各論** 読んで体感！ 倫理カンファレンスの実際
 - 26 がん終末期患者本人と家族の意向の違い ―治療の「継続」か「中止」か―
 - 33 「チューブ抜去はもうやめて…」身体的拘束解除をめざす看護師のジレンマ
 - 38 立ち位置が異なることで生じるジレンマ ―今ある命とこれからの命―
 - 43 スペシャリストの参加によるジレンマ解消 ―体重コントロールができずに苦痛が強い認知症のある維持透析患者―
 - 49 病院受診ルールを守れず、医療従事者へ暴言を繰り返す家庭への対応
 - 54 療養先の選択 ―患者の意向はどこへ―

